

別紙様式1

令和7年度広南中学校区研究推進計画

校番(2)(呉市立広南中)学校

校長名 坪浦 敏美

1 学校教育目標

未来を創る

～誇りを持って故里を語り、受け継ぎ、発展を担う志と力を育てる教育の創造～

2 目指す児童生徒像

- 夢を持ち、夢を語り、志を抱き、その実現に向けて挑戦する児童生徒
- 時を守り、場を清め、礼を正し、学びを求める児童生徒
- 自ら課題を見付け、その解決に向けて、常に努力し続ける児童生徒

3 育成を目指す資質・能力(具体の姿)

資質・能力	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
設定した	知識・技能	情報収集・判断 思考・表現	協力・協働 感謝・貢献 責任・使命 挑戦・探究
後期	課題解決に必要な知識や技能を習得し、活用することができる。	学習してきた情報を構造化したり抽象化したりすることで、解決策を生み出すことができる。 自分の考えを、状況に応じて適切に表現したり、伝え合ったりすることができる。	他の人と協力し、それぞれの意見を分析しながら、より良いものを導き出すことができる。 感謝の心を持って、自分なりに社会へ貢献しようとすることができる。 自分の役割や使命を考え、するべきことを行うことができる。 疑問やできないことを大切にし、自ら課題を進んで見だし、探究的に粘り強く学び続けることができる。
中期	課題解決に必要な知識・技能を習得し、活用することができる。	学習したことを多面的・多角的に見ることで、根拠を明確にして解決策を考えることができる。 自分の考えを、目的や相手によって、効果的に表現したり、伝え合ったりすることができる。	他の人と協力し、いろいろな意見やそれぞれの力をさらに発展させることができる。 感謝の心を持って、自分なりに地域へ貢献しようとすることができる。 自分の役割や使命を考え、するべきことを行うことができる。 疑問やできないことを大切にし、自分たちで問いを立てて、粘り強く解決していこうとすることができる。
前期	課題解決に向けて必要な知識・技能を習得し、活用することができる。	学習したことの中から、比較したり分類したりしながら、解決策を選び出すことができる。 自分の考えを分かりやすく表現したり、伝え合ったりすることができる。	他の人と協力し、いろいろな意見やそれぞれの力を生かすことができる。 感謝の心を持って、自分なりに家族や地域へ貢献しようとすることができる。 自分の役割や使命を考え、するべきことを行うことができる。 課題解決に向けて、興味をもって、自分から粘り強く取り組むことができる。

4 研究主題等

(1) 研究主題

Society5.0を生きる資質・能力の育成

～主体的に考え、議論し、自己の生き方を考える道徳科の授業づくりを通して～

呉市が進める学校教育の重点施策として、教科等の本質に迫る「考える授業」づくりがある。道徳科の本質に迫る発問とは、児童生徒が自分との関わりで道徳的価値を理解したり、自己を見つめたり、物事を多面的・多角的に考えたりするための思考や話し合いを深めるための発問である。児童生徒が考える必然性や切実感のある発問、物事を多面的・多角的に考える発問等について、授業研究を通して研究を進めていく。また、「主体的に考え」の主体的とは、自分だったらどうするだろう、これまでの自分はどうだっただろうか、自分の生活に生かしていこう等、自分事として考えることである。自分事として主体的に考える道徳科の授業を充実させることにより、本学園の目標である「何事にも挑戦し、自律し、課題解決に向けて真摯に努力し続ける」児童生徒の育成を目指す。

(2) 設定理由（校区の児童生徒の課題分析等）

道徳科が全面実施され、「考え、議論する道徳科の授業」への質的転換が求められている。しかし、話し合いや議論が深まらず、自分の生き方を考える授業づくりに課題があった。そこで、令和5年度からは道徳科の授業づくりに重点的に取り組んだ。道徳科の授業では、学級担任と道徳教育推進リーダーがチーム・ティーチングで指導を行い、多様な授業展開を可能にした。その結果、児童生徒が主体的に考え、議論し、自分の生き方について深く考える授業へとつながった。さらに、令和6年度からは「道徳科で学んだことを生活に生かす」ことに関する課題を踏まえ、道徳科の学びと日常生活とのつながりを重視した。

ア 研究実践の調査結果、考察

道徳科の授業において、児童生徒は友達と話し合うことで、自分の考えを深め広げる意識が高まり（④）、物事を多面的・多角的に考える力を養っている。これまで道徳科の授業で議論が深まらず、生き方を考える授業に課題があったが、授業形式を児童生徒が主体的に考え、議論するものに変えることで、児童生徒が自分の考えをしっかりとち、他者との意見交換を通じて思考を広げる姿勢が育まれている。さらに、「道徳学習プログラム」

質問項目	小学生 (%)		中学生 (%)	
	R5年度 (5月)	R6年度 (12月)	R5年度 (5月)	R6年度 (12月)
① 道徳科の勉強は好きだ。	90.9	87.0	83.3	87.0
② 道徳科の勉強はためになると思う。	94.8	98.7	98.1	94.4
③ 道徳科の授業では、自分のことを振り返りながら考えている。	84.4	94.8	98.1	98.1
④ 道徳科の授業では、友達と話し合うなどして、考えを深めたり、広げたりしている。	87.0	94.8	88.9	94.4
⑤ 道徳科の授業で勉強したことを、自分の生活にいかしている。	81.8	93.5	81.5	92.6

道徳の授業に関わる児童生徒の意識調査

評価指標	小学生 (%)		中学生 (%)	
	R5年度 (5月)	R6年度 (12月)	R5年度 (5月)	R6年度 (12月)
⑥ 自分にはよいところがあると思う。	75.3	90.9	83.3	79.6
⑦ 将来の夢や目標をもっている。	93.5	92.2	81.5	90.7
⑧ 今住んでいる地域が好きだ。	97.4	95.1	92.6	92.6

生活に関わる児童生徒の意識調査

を活用し、児童生徒の実態を把握したうえで学びや気づきを共有し、道徳科の学びと生活とのつながりを意識した指導を行った結果、児童生徒が学んだ内容を実生活に生かす意識が向上している（⑤）。この成果は、授業での学びが児童生徒の日常生活に積極的に反映されるようになったことを示している。また、「自分にはよいところがある」と感じる意識が小学校で大きく向上し（⑥）、道徳科の授業で学んだ「個性の伸長」を日常生活に関連させる活動が効果的であったことが分かる。さらに、「道徳学習プログラム」の中で、総合的な学習の時間や学校行事とのつながりをもたせる活動を通じて、「⑦将来の夢や目標をもっている」や「⑧今住んでいる地域が好きだ」といった地域を肯定的にとらえる意識が高まり、児童生徒の自己肯定感や地域への愛着が育まれている。

道徳科の授業が「好きだ」という意識について、小学校でやや減少した(①)。特に、「考えるほど難しくなってきた」という声が児童からあり、これは道徳科が単なる話を聞くだけの授業から、より深い思考を促すものになってきたためだと考えられる。とはいえ、児童が真剣に自分ごととして向き合っている姿が見られることは成果の一つと捉えられる。今後、より授業が楽しく、主体的に取り組むことができるようにするための工夫が引き続き必要である。また、「⑥自分にはよいところがあると思う」という意識が中学校で若干減少している。自己肯定感は学習意欲や生活意欲に影響を与える可能性があるため、引き続き自己肯定感を育て、高める取組を充実させることが大切である。

イ 今年度の取組

広南中学校区の「はなしたいわ」シートを授業で活用し、考え議論する授業づくりに活かしていく。さらに、保護者や地域の指導者、ゲストティーチャーなどと連携し、学校だけでなく家庭や地域全体で道徳教育を進めていく。道徳教育を通じて、児童生徒が学びや自分の成長を実感できるような道徳学習プログラムを充実させていく。これにより、本学園の目標である「何事にも挑戦し、自律し、課題解決に向けて真摯に努力し続ける」児童生徒の育成を目指していく。

(3) 研究仮説

自分事として主体的に考え議論する道徳科の授業づくりと道徳学習プログラムの充実により、本学園が目指す児童生徒像である「何事にも挑戦し、自律し、課題解決に向けて真摯に努力し続ける」児童生徒を育成することにつながるだろう。

5 研究内容

(1) 主体的に考えるための工夫

① 課題提示（導入の工夫）

事前アンケートの活用、実際に起こりそうな場面の提示、児童生徒の感想の活用等

② 教材提示の工夫

具体物の利用、TTでの役割読み、板書の工夫（黒板シアター）等により、児童生徒が教材に入り込み、自分との関わりで考えられるようにする。

(2) 考え、議論するための工夫

① 議論する場の設定

- ・コの字型の机配置…机をコの字型にすることで、お互いの顔を見ながら話し合い、学べるようにする。
- ・対話の形式…考えをペア、グループ、全体へと広げることで、自分の考えに自信をもたせたり、考えを広げたり深めたりすることにつながる。話し合いの際には顔を見て話したり、認め合う聞き方をしたりすることを大切にする。
- ・広南中学校区「はなしたいわ」シートの活用
 - 低学年：自分の考えとその理由を話すこと
 - 中学年：友達の考えと比較しながら考えを話し合うこと
 - 高学年：友達の考えと比較し、自分の考えを見つめ直しながら話し合うこと
 - 中学生：自分の考えを見つめ直したり、他者の考えを自分の考えに生かしたりしながら、話し合うことを目指し、9年間を見通しながら議論のレベルアップを目指す。

② 自分の考えをもたせる

ネームプレートを用いて黒板に考えを貼らせたり、ICTを活用して2つの選択肢から選ばせ、キーワードを使って理由を書かせたりするなど、自分の考えをもたせる。

③ 発問の精選

- ・中心発問を吟味…児童生徒にとって新しい学びは何か、考えたくなるような発問
- ・補助発問の準備…さらに道徳的価値を深められるような発問

(3) 自己を振り返るための工夫

① 振り返りの視点の活用

振り返りの視点を活用し、学習内容とこれまでの自分の生き方を比較して考え、友達の考えを聞いて自分はどう考えたか振り返ることができるようにする

② 道徳科の学びと生活（道徳的実践）の結び付け

心に響く教師の説話、スライドショー等を通して、児童生徒が気付いていない行動や姿について価値付けを行い、道徳科の学びを自らの生活とつなげ、これからの実践意欲に生かせるようにする

(4) 学びをいかすための工夫

① 道徳学習プログラム

道徳科の学習と他の教育活動とのつながりを「見える化」し、道徳科で学んだことと生活との結びつきを実感できるようにする。活動後には、どのような学びがあったのかを振り返り、児童生徒とともに学びや気づきを共有する。

<関わりのある活動>

〔相手を大切にする礼節の校風づくり〕

○児童委員会、生徒会活動 ○生活ループリック ○5つの合言葉・3つの約束
○いじめ撲滅プロジェクト

〔先輩後輩・地域との絆づくり〕

○絆 PROJECT（異年齢交流） ○学園朝会
○広南芸術鑑賞会・広南寄席 ○広南学園運動会 ○広南劇場・学習発表会
○せとうち海援隊活動
○地域行事への参画 ・小坪神楽・祭礼（小坪・長浜）・ふれあいサロン・広地区教育祭

〔健康・運動・生活づくり〕

○部活動 ○食育の充実 ○読書活動

〔活躍・挑戦の場づくり〕

○授業での活躍の場

・予習課題・復習課題の活用（Qubena の活用）・ミニ発表会
・班発表 ・ミニ先生 ・教え合い

○校外への挑戦の場

・「トリプル3+1」（漢検・数検・英検+防災検定）・各種学力調査
・二刀流（漢検・くれチャレンジマッチスタジアム）
・科学研究、発明工夫 ・各種応募作品
・校外的な大会（部活動の大会、総合文化行事）

② 学習の足あと

道徳科で学んだことを毎時間掲示し、学習の足あととして記録に残す。



学習の足あと

6 検証について

(授業)

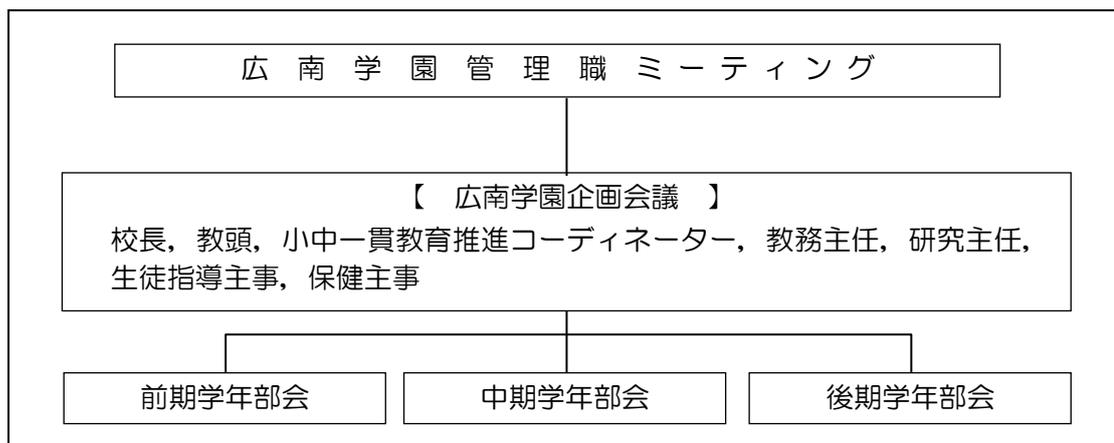
検証の視点	方法	検証の指標	現状値	達成目標
① 道徳の授業では、自分のことを振り返りながら考えている。	児童生徒の意識調査	児童生徒の肯定的評価	小94.8 中98.1	95.0
② 道徳の授業で友達と話し合うなどして、考えを深めたり、広げたりしている	〃	〃	小 94.8 中 94.4	95.0
③ 道徳の授業で勉強したことを、自分の生活にいかしている。	〃	〃	小 93.5 中 92.6	95.0

(生活)

検証の視点	方法	検証の指標	現状値	達成目標
④ 自分にはよいところがあると思う。	児童生徒の意識調査	児童生徒の肯定的評価	小90.9 中79.6	90.0
⑤ 将来の夢や目標をもっている。	〃	〃	小92.2 中90.7	90.0
⑥ 今住んでいる地域をよくするために、何かしてみたいと思う。	〃	〃	小92.2 中79.6	90.0

7 推進体制等

(1) 推進組織



(2) 一部教科担任制実施計画

ア 乗り入れ授業等

(中→小)

国語科	・・・	第5学年	年間20時間程度
算数科	・・・	第5学年	年間20時間程度
社会科	・・・	第6学年	年間20時間程度
理科	・・・	第6学年	年間20時間程度
体育科	・・・	第6学年	年間20時間程度
外国語科	・・・	第5学年	年間20時間程度
クラブ	・・・	第4～6学年	年間20時間程度

イ 小学校教科担任制等

第4～6学年	理科
第2～6学年	音楽
第5～6学年	家庭

8 推進計画

月 日	内 容
4月 1日	広南学園企画会議 事前打合せ（今年度の取組）
2日	広南学園研修会（本年度の取組・組織・計画について）
30日	広南学園企画会議（5月の予定等）
5月14日	広南学園運動会予行
17日	第14回広南学園運動会
28日	広南学園企画会議（6月の予定等）
6月27日	広南学園企画会議（7月の予定等）
7月 1日	広南学園研修会 研究授業 中学校（第?学年）①谷田教授
7月29日	広南学園企画会議（8月の予定等）
8月28日	広南学園企画会議（9月の予定等）
9月29日	広南学園企画会議（10月の予定等）
10月24日	広南学園研修会 研究授業 小学校（第?学年）②谷田教授
10月28日	広南学園企画会議（11月の予定等）
11月28日	広南学園企画会議（12月の予定等）
1月 6日	広南学園企画会議（1月の予定，まとめに向けて等）
1月28日	広南学園研修会 研究授業 小学校（第?学年）③谷田教授
1月30日	広南学園企画会議（2月の予定）
3月10日	広南学園研修会（各部会の報告，本年度のまとめ，来年度に向けて）
3月10日	広南学園企画会議（来年度に向けて）

9 その他

・令和7年度 広南学園 学園朝会 計画

月 日	内 容
4月18日	職員紹介 児童委員会・生徒会執行部紹介 礼節, 集団訓練 広南学園運動会 結団式
5月 7日	運動会に向けて全体練習 (中学校グラウンド) 気をつけの姿勢と深い礼 運動会のテーマとスローガン
6月10日	第1回いじめ撲滅キャンペーンの取組について
10月 7日	いじめ撲滅標語の表彰式
11月 6日	五色百人一首集会 (古典の日の取組として) 「古典に親しもう」
12月 4日	広南学園遊び 縦割り遊び
2月10日	9年生を送る会

・小中一貫教育だより (年1回発行予定)

※ カリキュラムマップを添付する。